

2023年度夏季手当

6/1 第2回団体交渉開催!

黒字化で高まる夏季手当への期待!

職場での苦勞に伝えてほしい!!

総務省が発表した2023年3月の全国消費者物価指数(前年同月比)は、電気代などのエネルギー指数で12.8%上昇。生鮮食品を除く食料品も5.4%上昇しています。さらに6月から、電気使用料金が値上げされ、家計負担は苦しくなるばかりです。

また、様々な施策が実施され、「仕事量が増えたのに一時金の減額は納得できない」など、不安と不満の声が出されています。

そうしたことから会社に対し、

- 要員不足による休日出勤や時間外労働が増加している!
- 融合と連携で仕事量が増えているのに減額は納得できない!
- 賃金改善はされたものの物価上昇に追いついていない!
- 社員の一番の関心事である賃金・手当の改善を図ることが必要だ!

と、国労の主張を訴え、夏季手当アンケートで集約された仲間の声を伝えました。

黒字は確保したが、目標としていた1,000億円には届かなかった。
業績予想の営業利益(単体)1,770億円は、非常にハードルが高い。
「変革2027」で想定した人口減少、鉄道移動ニーズが減少している。
原材料・エネルギー価格の高騰により厳しい経営環境である。
基本給改定等も踏まえ、総合的に判断する必要がある。

会

黒字化達成は **みんなの努力の結果だ!**